

令和6年度地方における孤独・孤立対策推進事業交付金 事業実施報告書

【事業内容】

●孤独・孤立対策関連事業の実施

1.事業の概要

令和7年度に兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設置することを目指し、同プラットフォームのコアメンバー候補団体と検討を進める会議を開催するとともに、分野横断的な連携強化や関係団体の掘り起こしを図るため、庁内関係課室を構成員とする連携会議を開催した。

(1)庁内連携会議

日 時:令和6年7月2日(火)10:00～11:30

場 所:兵庫県庁 会議室

出席者:関係課 26 課 28 名

内 容:本県の孤独・孤立対策の進め方、孤独・孤立対策国重点計画に関連する本県施策の共有 等

(2)プラットフォーム検討会1回目

日 時:令和6年10月2日(水)13:30～15:00

場 所:兵庫県庁 会議室

出席者:検討会委員12名

内 容:検討会協議事項、孤独・孤立対策の概要、県内の取組状況、兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(骨子)等

(3)プラットフォーム検討会2回目

日 時:令和7年3月11日(火)10:00～12:00

場 所:兵庫県中央労働センター 会議室

出席者:検討会委員12名

内 容:兵庫県版孤独・孤立官民連携プラットフォームの概要案 等

2.事業実施の経緯・背景及び目的

単身世帯・高齢世帯の増加やコロナ禍の影響等による社会構造の変化により、家族や地域などにおける「人とのつながり」が薄くなり、誰もが孤独・孤立に陥りやすい状況にあることから、福祉分野に留まらず、あらゆる分野に孤独・孤立対策の視点を入れ、人と人との「つながり」を緩やかに築ける社会環境づくりが求められている。

そのため、兵庫県においては、広域的自治体としての立場から、①分野横断的に対策を推進

するための県レベルでの関係団体間の連携強化、②先進的な取組等の情報共有及び広域的な啓発活動の2点を柱として官民連携による取組を進めていくこととし、庁内連携会議を開催するとともに、兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置について検討を行う検討会を設置した。

3.事業の成果及び工夫した点

兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム検討会を設置し、多方面から検討を行い、孤独・孤立対策に関する施策や連携体制を推進し、プラットフォームの概要が固まった。

孤独・孤立対策や重層的支援体制整備事業等に積極的に取り組んでいる市町や団体、企業等、多方面から検討会委員に就任いただき、幅広いご意見をいただけるようにした。

4.事業の課題と次年度に向けての展望

「すべての人に居場所がある、兵庫へ」をスローガンに、令和7年度中に兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設置し、官民の多様な関係者による広域的な連携を促進する。

県においては、全県的に孤独・孤立対策を推進するための土台として、主に広域的な連携体制の構築や支援者支援・普及啓発等に取り組む。

あわせて、各市町において、地域の社会資源を活用して、孤独・孤立を抱える人への具体的な支援や予防が進むよう、県プラットフォームの運営等を通じて市町の取組を支援する。